

日高市立高萩中学校における働き方改革基本方針（令和8年4月）

～子どもたちへのよりよい教育を実現するために～

現状・課題

【令和7年3月期勤務状況調査から】

- 月45時間超の割合…29.2%（週休日含む）
- 年間360時間超の割合…50%（週休日含む）

【令和7年度年次有給休暇取得日数5日未満の割合】

- 12.5%

- 時間外在校等時間の削減は進むが目標未達
- 業務の恒常的な見直しと平準化が必要

目的

働き方改革の推進によって、
子どもたちへのよりよい教育を
実現する。

目指す教職員の働き方

- 効果的・効率的な業務
- 多様なワークライフスタイル
- 未来の自分への投資時間の確保
- 「個業」から「協働」、「チーム学校」

目標

時間外在校等時間

- 令和9年度末までに「月45時間以内、年間360時間以内」教職員割合100%
- 令和11年度末までに月平均30時間程度

「働きやすい」「働きがいのある」職場環境

- 年次有給休暇取得日数5日未満ゼロ
- ストレスチェック「働きがい」評価3以上の割合90%

取組の柱「3つの視点」と主な具体的な取組

①負担軽減・業務量削減

- 適正な年間授業時数の設定
- 部活動ガイドラインの遵守
- ICTを活用した調査・報告等の効率化
- 授業日における生徒下校時刻の繰り上げ
- 生徒下校後30分後に留守番電話に切替

②ワーク・ライフバランス

- 子どもと向き合う時間の確保
- 指導力の向上
- 週休日の振替や調整の確実な取得
- 年次有給休暇取得の推進

③保護者・地域の理解と連携

- 登下校時の通学路における高萩地区防犯・萩っ子見守り隊の見守り活動
- 「定時退勤ウィーク」「ノー部活動デー」等の設定・周知
- 市民、保護者等の理解促進
- 学校運営協議会との連携

フォローアップ

- 時間外在校等時間の適切な把握と教職員への周知
- 年次休暇の取得状況の把握と声かけ
- 子どもたちへのよりよい教育実現のための職場環境についての話し合い
- 学校運営協議会で進捗状況の報告